

## 最優秀賞

神奈川県共同募金会長賞

### 『ありがとう』

川崎市立宮前小学校

六年 高月 健多

福祉という言葉聞いて、ぼくにはあまりピンとこないので国語辞典で調べてみた。すると「人々が安心して暮らせる環境」とあった。

ぼくの家庭の中でどう福祉が関わっているのかを考えてみた。

ぼくには、はなれて暮らしている祖母がいる。四年前に脳こうそくという病気になり右半身が不自由になってしまった。そのため、ほうちょうをにぎれなくなった祖母のために母が、のみこみややすい食事を作つてとどけるようになった。昨年には、とつ然病気で祖父が亡くなった。だから日用品の買い物や郵便物や書類の代筆、ゴミの処理、入浴の見守りなど母がやっている手伝いの量が増えた。それから荷物が多い母のために父と姉が交代で運転し協力し

ている。

仕事や学校に通っている家族だけで祖母の手伝いをすべてする事は難しい。でも、祖母を助けてくれる人は、たくさんいる。ケアマネージャーさんは、定期的に祖母と連絡をとり家族にも必要な情報を伝えてくれる。訪問リハビリの人達は、週二回祖母の体をケアしてくれる。その他、異変に気づいた事があれば家族に連絡してくれる近所の人もいる。家族が訪問できない時も、多くの人達の見守りがあり祖母だけではなく、ぼく達家族も安心して暮らしていく事ができている。

最近の祖母の口ぐせは、「ありがとう。」だ。訪問してくる人達みんなに言っているように見える。ぼくが荷物を持つ手伝いをしただけでも言ってくれる。ただ不思議なことにそのひと言がともうれしく感じる。だからぼくも支えてくれている人達に「ありがとう」と伝えたい。そして祖母には、これから元気で笑顔でいてもらいたい。